◆写真お分けします◆静岡版掲載写真をお分けします（プロスポーツ、アー

静岡支局
〒420・0853
静岡市葵区追手町7の2
朝日新聞静岡ビル4階
☎：054・253・2711
FAX：054・253・2734
E-mail：sizuoka@nikkansports.co.jp

7・11開幕

第97回全国高校野球静岡大会

球児の夏

全国でも30～40人しかいない難読名字

浜名 皆戸中（かいとなか）秀典

勝って勝って名前売ります

浜名の皆戸中秀典投手（3年）は、自ら活躍することで自分の名字をメジャーに押し上げるつもりだ。皆戸中は「かいとなか」という〝難読名字〟の持ち主だ。春の地区大会は出場も、8強入りした県大会ではベンチ外に。この悔しさを胸に秘めながら、順調にコンディションを上げている。今夏の大会で活躍し、名前を広めるチャンスだ。また、三島北を引っ張るのは山田涼介内野手（3年）。ジャニーズのHey！Say！JUMP山田と同姓同名だ。

球威が持ち味の浜名の皆戸中投手

「シード校らしい戦いで1つでも多く勝ちたい」

夏の大会で「かいとなか」が有名な名字になるかもしれない!? 浜名の2番手投手に名乗りを上げているのが、皆戸中だ。「かいとちゅう」や「みなとちゅう」と読み間違えられることが多い〝難読名字〟だ。名字に特化したアプリで検索してみると、日本全

継投策に貴重な2番手候補

国に30～40人ほどしかいなかったという。「よく読み間違われます。親戚の人以外では、同じ名字の人に会ったことがありません」というマイナー名字だが、夏の活躍次第では一気に〝メジャー昇格〟となりそうだ。

高校から投手にコンバート

投手歴としては、3年目を迎えたばかり。小3で野球を始めて以来、外野手一筋だった。しかし高校入学後、コーチに投手へのコンバートを勧められたという。「なんでなのか、分からなかった」と戸惑った。もともと肩には自信があったが、コントロール力はゼロに近かった。それでも、球数を多く投げることに専念し、カーブやスライダーなどの変化球も習得。球威で押し込むスタイルを確立した。

春季県大会での悔しさが、現在の原動力になっている。地区大会には出場したが、県大会ではメンバー外となった。スタンドで応援しながら、勝ち進むチームの姿を目に焼き付けた。「夏は、自分がチームの役に立ちたい」。県大会の期間中から、気持ちを切り替えて練習に取り組んだ。

その効果なのか、5月以降の練習試合では先発を任せられるようになった。結果も出るようになり、徐々に力を発揮している。浜名はチームメートの頑張りにより、夏の大会は8年ぶり6度目となるシードを獲得している。「シード校らしい戦いをして、1つでも多く勝ちたい」。皆戸中が、チームを勝利に導く。【保坂恭子】

浜名　1949年創部

浜名過去3季

季	最終成績
夏	3回戦
秋	西部地区2回戦
〃	敗者復活1回戦
春	8強

◆浜名の主なメンバー◆

監督・横山崇（36）

位置	選手名	学年	出身中
投	水谷勇貴	③	丸塚
捕	山本駿	③	開成
一	並木陽介	③	富塚
二	河合凌	③	浜北北部
三	平松稜悟	③	鹿玉
遊	酒井裕大	③	清竜
左	山本啓太	❸	浜北北部
中	鳥居蒼	③	森
右	大石拳也	③	浜北北部
投	皆戸中秀典	③	浜北北部
投	石原赳宏	③	浜北北部
投	佐々木敦矢	③	積志
投	桜井悠一郎	③	丸塚
内	木村侑樹	③	天竜
内	尾上貫太	③	北浜
内	松本大輝	③	北浜
内	藤野昴	③	与進
外	斎藤竜一	③	浜名
外	境沢輝	③	浜松東部
外	土屋彰吾	③	積志

打線復調 エース水谷も復活

打線が息を吹き返している。8強入りした春季大会後、疲れから調子を落とす選手が続出したが、しっかり休息をとり回復。横山監督は「今年は打のチーム。打ち勝つことを考えている」という。メンバーをすべて白紙に戻し、紅白戦など実戦形式の練習を多く行うことで、選手同士が切磋琢磨（せっさたくま）している。投手陣は、ケガから復帰したエース水谷に加え皆戸中、佐々木、石原と継投で甲子園を目指す。

島田樟誠　1946年創部

島田樟誠過去3季

季	最終成績
夏	1回戦
秋	中部地区1回戦
〃	敗者復活1回戦
春	中部地区2回戦

◆島田樟誠の主なメンバー◆

二塁遠野はフットサル選手も

昨年からエースとして活躍していた築地が出遅れ、中村がエース候補に浮上。2年の内田も実戦経験を積んでおり、築地の復

だ。野手では二塁の遠野が攻守でカギを握る。フットサルもプレーするだけあって器用な身のこなしを見せる。打順も中軸に入りチャンスに強い打撃が持ち味だ。昨年は春、夏、秋と公式戦で勝利が遠かった。今年

次回